

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年10月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670101973号
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホーム よしの村
所在地	鹿児島市吉野町3823-1 (電話) 099-244-4412
自己評価作成日	平成23年8月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住宅街の静かな環境に立つ平屋建ては、訪れる方に安心感を持っていただいています。個別性を追求しながら、入居者の皆様にとって安心できる関係作りとご家族にとっても居心地の良い関係を目指しています。行事や食事に季節感を取り入れ、グループ活動にも、創作・園芸・音楽・外出をとおした、五感を刺激する取り組みを行っています。また町内会に加入し、運動会に参加したり、避難訓練に参加していただいたりすることで、相互に助け合える関係作りに努めています。最期まで信頼して過ごしていただけるように、法人その他の医療機関と連携して、看取り介護についても実践を重ねつつあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市北部、閑静な住宅地に建てられている「よしの村」は、広々とした敷地に平屋建ての3棟が並んでいる。一番古い「菖蒲」は開設して12年が経ち、最も新しい「すみれ」でも8年になるため、利用者の高齢化や重度化を現実の課題として受け止め、母体医療機関と訪問看護ステーションとの連携により安心して「よしの村」での生活を維持できるように支援している。また、法人は職員育成にも力を入れて、研修や資格取得に向けた支援などにより、ほとんどの職員が介護福祉士、看護師、ケアマネージャー、社会福祉士、認知症ケア専門士等の資格を持ち、介護のプロとして利用者を支えている。地域とのつきあいも町内会に加入して清掃活動などに参加し、利用者も運動会など参加できる催し物には可能な限り出かけるなど積極的に交流を図っている。また、ホームの秋祭りや避難訓練に地域の方々が参加して頂けるなど協力体制も構築されている。子ども達との交流の機会として中学生の福祉体験学習、高校生の職場体験、看護学校生の実習の受け入れなども行っている。3ユニットと大所帯の「よしの村」であるが、職員主体の業務により、それぞれのリーダーを中心としたユニットごとの独自のカラーを感じることが出来るグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、出勤者で復唱し意識づけている。	法人の理念と地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を、職員全員で話し合っ作成している。理念は毎朝、申し送り時に唱和して理念の共有と実践につなげている。また、毎年、理念を基に事業所目標を掲げ、より具体的に実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の活動に参加したり、よしの村の行事に参加していただいたりし交流を図っている。	町内会に加入して、清掃活動や運動会に参加している。また、ホームでの秋祭りは地域の協力をもらいながら行われる。中学生の福祉体験学習、高校生の職場体験、看護学校生の実習の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	行事等で利用者と交流をもっているがまだまだ理解までは困難と感じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催され家族、地域の方々と話し合いがされている。	運営推進会議は2ヶ月に1回、老人クラブ会長・班長・民生委員・川上校区・吉野東校区社会福祉協議会代表・地域住民・利用者・家族・職員・行政等の参加で定期的開催している。ホームの状況報告や研修・行事報告、取り組み状況などが主な議題として話し合われ、ときには、認知症についての勉強会や避難訓練後に会議を行って助言等をもらうこともある。	

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の方と連携を取り情報を交換している。	生活保護受給者もおおり、日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。また、毎年、介護相談員の訪問もある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は施錠無しですごしていただいている。身体拘束委員を設け介護者全員が理解しとりくんでいる。	各棟1名、身体拘束廃止委員を設置し、日々の生活においてリスクを伴うことについて、職員全員で話し合い、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な生活を送れるように支援している。外出傾向の利用者には職員が着いて行くなどして対処している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的、精神的に暴力的になっていないかストレスになっていないか常に気をつけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1名成年後見人制度を利用されている方がいるがまだまだ活用はされていない。		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約についてはまだ理解できていないところがあり管理者にまかせている事が多い。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族よりの意見や要望を受けた時は全職員、管理者に報告をし話し合いをして取り組んでいる。</p>	<p>面会時や電話連絡時、担当者会議等で個別に意見、要望を聞き出すようにしている。また、年2回、家族交流会を開催して話し合いの機会を作っている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回は全体会を開き話しをしている。</p>	<p>毎月、全員参加でユニット会議と全体会議を開き、意見交換や話し合いを行っている。職員は各委員会（感染症対策・身体拘束廃止・事故事例検討・接遇・災害時対応・行事）に属し、職員主体の業務を行っている。また、職員の意見・提案は可能な限り、運営に反映させるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>短時間勤務の組み合わせなどを取り入れ工夫をしている。</p>		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験に応じた研修機会を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業他者との職員交流、研修会、情報交換に参加するよう努力している。</p>		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人とよく話しをし安心して生活できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来所の際にお話をし不安なことがないか等聞く様になっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日々の行動や会話を観察し必要な支援につとめている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いに1日を楽しく過ごせるように努めている。		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来所される家族とは直接話しができていますがそうでない方に関しては1年に2回は本人の自筆を入れた近況報告を行なっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会は積極的に受け入れているがこちらから関係がとぎれないようにすることは家族以外にはしていない。	個々の希望に応じて、墓参りやデパートなどに連れていくこともあり、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、地域出身の利用者は町内会行事に積極的に参加できるように支援している。友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立されることのないように本人の意見を尊重し皆で過ごしていただけるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しご家族より連絡が来た際は別だがこちらからの取り組みはされていない。		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思を聞き支援に努めているが困難な時は職員で話し合い支援をしている。	支援についてはできるだけ本人の意思確認をしてから行うように心がけている。会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は職員の観察によるかすかな反応、表情、言動を把握し、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族に聞き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや日誌を活用し把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを定期的、必要時に行い職員間で意見を交換している。	楽しみごと（移動図書館等）や家族との関係継続に重点を置いた課題など個々に応じて個別の介護計画を作成している。また、排せつの自立の継続の支援として、「いつまでも自分の下着をつけていたい」との本人の希望を大切にしたい課題を設けて支援している利用者も多い。	

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録をしっかりとしその時々で職員間で話しをし活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	話し合いをし柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々にできる事できない事を把握し楽しんでいただけるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に往診をしてもらいその時々医療的なことや変化など伝えている。	法人の医療機関と訪問看護ステーションとは24時間オンコールで医療連携体制が図られている。定期的な医師の往診と看護師による健康管理が密にされており、家族の安心に繋がっている。	

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>往診時や訪問看護時に変化を伝えアドバイスをいただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>管理者やケアマネジャーを通して情報を聞いたりメール等で病院より情報をもらったりしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>病院の先生、看護師、管理者、職員と情報を共有し取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時にホームの方針を説明している。また、利用者の身体状況に応じて主治医を交えて家族と話し合い、再度意思確認を行うようにしている。これまでに看取りの経験もあり、職員もホームの方針は共有して支援に取り組んでいる。また、看護師による定期的な勉強会も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル、勉強会はあるが定期的な訓練というのはされていない。</p>		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年に2回、消防、地域の方の協力を得て訓練を実施している。	年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。地域の方々も避難訓練に参加しており、緊急連絡網にも組み込まれているなど協力体制が構築されている。各棟、スプリンクラーは設置済みである。	

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人のプライドを傷つけないように声かけや対応に日々気をつけている。	個々に応じた声かけに心がけ、馴れ合いによることば使いにならないように職員は意識を持って対応している。定期的に勉強会を行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思の確認をし自己決定をしていただけるようにしているが、困難な場合は日頃の様子から推察したり声かけで表出できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースで過ごしていただけるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣の際は確認をし支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは利用者の好みに合わせたり、下ごしらえや盛り付けなどは手伝いをいただいたりしている。職員も同じテーブルにて会話をたのしみながら食事をしている。	個々の力量に応じて準備や片づけなど職員と共に行っている。ときには気分を変えて、庭でお茶をしたり、物産館や道の駅に出かけて外食を楽しんだりしている。また、個々の希望に応じて外食を兼ねて外出することもある。法人の管理栄養士に献立のチェックと講習をしてもらっている	

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日チェックをしている。水分はこまめに摂取していただいたり、ゼリーにしたりして職員間で話し合いながら行なっているが、無理にはすすめていない。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけをし自己にてできる方にはして頂きできない方に関してはガーゼなどを使用し支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、声かけをしたり、誘導をしたりしている。	現在、自立している利用者も多く、個々の介護計画にも「いつまでも自分の下着をつけていたい」との本人の希望による排せつの自立の継続の支援を課題にしている利用者もいる。排せつ記録表にて排便の健康管理を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	カゴ糖や散歩、室内歩行、体操などを取り入れなるべく薬を使わなくていいように支援している。		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決まっているが声かけをし本人の希望にそって入浴をしていただいている。	基本的には曜日、時間帯は決まっているが、個々に応じた柔軟な支援を行っている。ユニットごとに足湯に出かけたりすることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意向に応じて睡眠は取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書やお薬手帳など確認し支援している。薬の管理もその日のリーダーが確認をし服用していただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	グループでの作業やレクリエーションが多く個々への取り組みとしては散歩の他脳活性を意識した取り組みを個別メニューで取り入れているがさらに充実させたい。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブには出ているが利用者の希望の場所にはなかなかおつれできていない。	日常的には散歩やドライブなどに出かけている。年間行事として、気候のいいときにはお花見ドライブや紅葉ドライブ、木市などにも出かけている。また、誕生日の個別ケアとして本人の希望により、お墓参り、カラオケ、外食、買い物、吉野公園でのお孫さん達とのふれあいなど外出の機会を作っている。	

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭に関してはこちらで預かり管理をしている。外出時好みの品を買われたり、希望の品と一緒に外出し選んでもらい買い物支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>暑中お見舞いや年賀状など書いていただきだしているが、最近はなかなか筆がすすまないため名前だけでも書いていただいている。本人の希望があれば電話をすることもある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた貼り絵や飾りを一緒に作成し飾っている。利用者間の関係にも配慮してソファやテーブルの配置にも気をつけている。</p>	<p>共用空間にはソファ、ダイニングテーブルが置いてあり、ゆっくりくつろいでいる人、職員と話している人など利用者が思い思いに過ごせるような配慮がしてある。和室には仏壇が置かれ、手を合わせる利用者もいる。また、フロアに飾ってある利用者の手作りの作品等からも季節感を感じる工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自席にて過ごされることが多いが声かけにてソファに座りテレビ視聴をされたりしている。</p>		

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や金魚の持ち込みをしたり季節の塗り絵など飾っている。入所時に使い慣れている物をもってきていただいている。	入居の際に使い慣れたものやなじみの物品を持ち込んでもらえるように、家族に説明している。机といす・テレビ・タンス・仏壇・ラジオ・布団・鏡などが持ち込まれ個別性があり、居心地良く過ごせる居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	少し狭さはあるが自立支援に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームよしの村 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない